

# 大阪商業大学

大阪商業大学は商都大阪の東に位置し(東大阪市), 商経学部のみ単一学部の4年制大学で, この学部の下に経済学科, 商学科, 経営学科, 貿易学科の4学科が設けられ, 約4,000人の学生が学んでいる。このほかに, 大学卒業者を対象として商経専攻科(経済専攻, 商学専攻各1年)が設けられ, 専攻分野における高度な研究能力を養うことを目的としている。

本学は商都大阪にふさわしく「実学」を研究し教育するという視点から, 建学の理念を「役立つ人物の育成」としている。たとえば, 管理会計を担当する筆者の場合「どんなに高度な理論でも, 実際に計算できなければ無意味であり, たとえ計算できても企業の経営に役立たなければ, また, 意味がない」として建学の理念の実践に留意しているのである。このように大阪という経済環境を背景に, 変転きわまりない経済の構造, 機能を理論的把握と実際の適用をモットーとして研究, 教育を行なっている。

以上のような基本的姿勢をもって各学科のカリキュラムが編成されているが, 学生の学問的興味の推移によって, 各学科間の移動の制限は比較的ゆるやかで, 所属する学科に拘束されることなく勉学できるように配慮されていることは複合学部の利点でもあると思われる。特に1年次生に対しては小集団教育の場として「基礎演習」が設けられ, 各学科別の枠から離れて将来の専門科目を学ぶに当たっての理論の基礎, 諸概念の習熟が学生と教員との対話形式のもとに行なわれていることは特色といえよう。

21世紀が視野に入ってきた今日, 新しい価値観を持つ教育を推進するために「カリキュラム委員会」が設置され, 各学科ごとにカリキュラムの再検討, 再編成が企画されているが, 現在, まだその結論を出すに至っていない。前にOR誌の編集の方より, この「研究室だより」を書くよう依頼されたが, 前述の「カリキュラム委員会」の結論を待って報告したいと思っていたので原稿が遅れて申し訳ないが, とりあえず現行のものを各学科別に掲げておく。

## 〔経済学科〕

経済原論1部・経済原論2部・経済政策・計量経済学・景気循環論・国際経済論・経済学史・経済史・日本経済

史・西洋経済史・経済地理・農業経済学・統計学概論・経済統計学・財政学・会計学・簿記原理・管理会計論・原価計算論・金融論・流通論・中小企業論・損害保険論・産業立地論・外国経済事情・サービス産業論・社会政策・民法・商法・労働法・税務会計・経営学・情報処理論・演習・その他

## 〔商学科〕

商業概論・商業史・金融論・商業経済学・銀行論・保険論・交通論・流通論・商品学・商業英語・中小企業論・証券論・広報論・市場論・簿記原理・会計学原理・原価計算論・経営分析論・管理会計論・税務会計・監査論・財務諸表論・経営学・事務管理論・民法(物権・債権・総則)・商法(総則・株式会社法・手形小切手法)・労働法・外国経済事情(アメリカ・EC・東南アジア・ラテンアメリカ経済)・経営学・経営数学・経営財務論・経済原論・演習・その他

## 〔経営学科〕

経営学総論・生産管理・経営組織論・経営数学・産業工学・経営財務論・労務管理・マーケティング管理論・経営学史・事務管理論・経営分析論・簿記原理・会計学原理・財務諸表論・原価計算論・管理会計論・監査論・企業診断論・経営統計・経済原論・民法(総則・物権・債権)・商法(総則・株式会社法・手形小切手法)・金融論・保険論・商品学・市場論・日本経済事情・外国経済事情・演習・その他

## 〔貿易学科〕

商業英語・貿易実務・国際貿易論・国際企業論・海上保険論・商品学・貿易経営論・外国為替論・海運論・外国経済事情I(アメリカEC)・同II(東南アジア)・同III(ラテンアメリカ)・国際公法・民法・商法・経済原論・会計学・管理会計論・財務諸表論・事務管理論・LL会話・演習・その他

(各学科のカリキュラムの末尾にある「その他」とは, 他学科に配当されている科目を履習することができるので重複を避けるためにそのようにした)

以上である。OR誌にはあまり参考とならないかもしれないが記した。  
(清水誠一)